

2022年5月20日

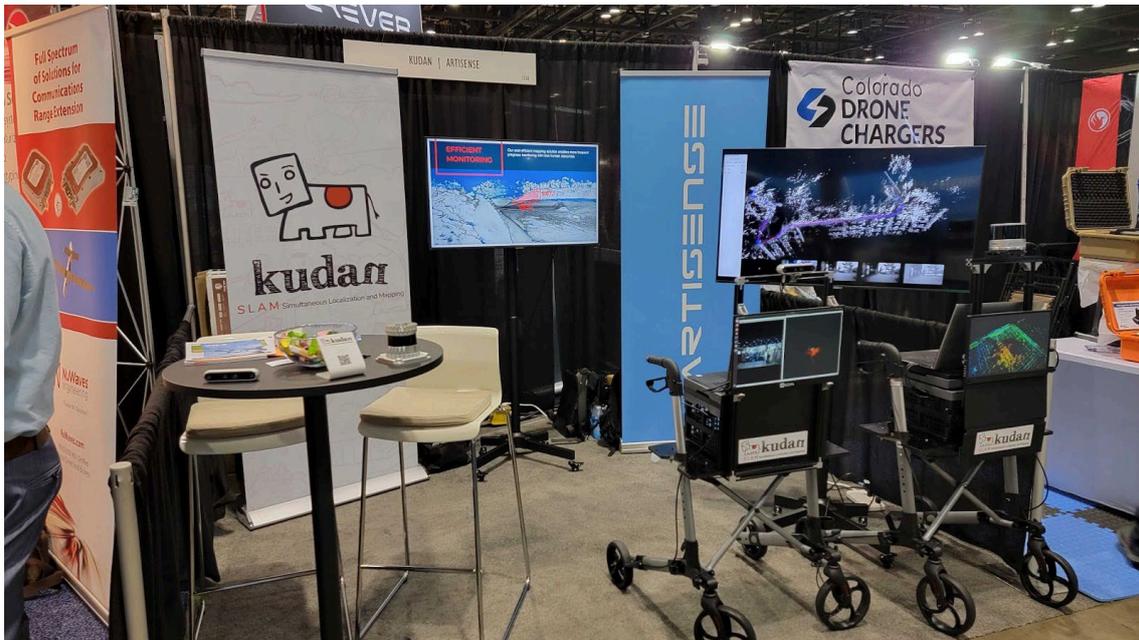
K u d a n株式会社

イベントレポート：「AUVSI XPONENTIAL 2022」で Kudan Visual SLAM および Kudan 3D Lidar SLAM を展示しました

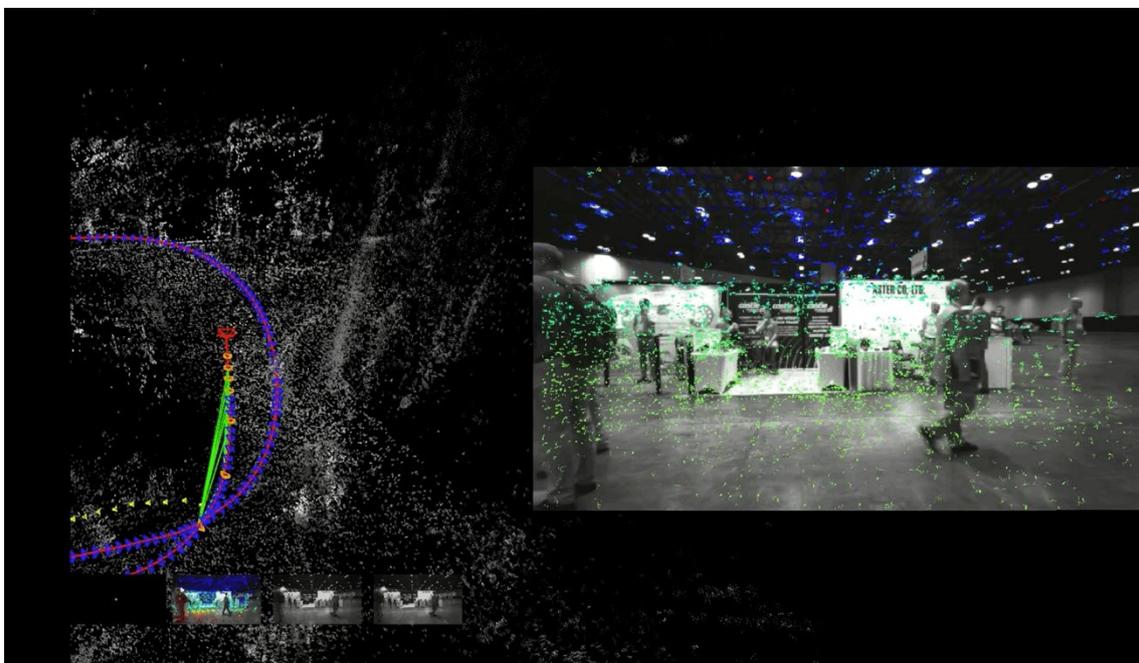
様々な場面で使用可能な SLAM 技術のリーディングプロバイダである K u d a n 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：項 大雨、以下 Kudan）は、米国フロリダ州オーランドで4月25日から28日まで開催された「[AUVSI XPONENTIAL 2022](#)」に、グループ会社の Artisense とともに出展しました。本イベントでは、合計 500 社にのぼる出展者と 6,500 人以上の参加者が参加し、地上でのロボティクスのほかに、航空や海上等のロボティクス産業における最新の技術開発が紹介されました。



Kudan と Artisense は、SLAM（Simultaneous Localization and Mapping）業界のリーダーとして、最新の Indirect Visual SLAM および Direct Visual SLAM に加えて、3D Lidar SLAM ソリューションのデモを展示いたしました。



このリアルタイムデモにより、Kudan と Artisense の技術性能と実現可能な精度を視覚的に体験いただくことができました。一つのカートでは、カメラを用いた Visual SLAM を、もう一方のカートでは、Kudan が開発した 3D Lidar をベースにした SLAM を紹介しました。KdLidar は、回転式の lidar からソリッドステート (Solid State) 式の lidar まで多くの 3D Lidar モデルに対応しており、風景の変化や動的な物体に対してロバスト性の高い SLAM を実現しています。KdLidar のデモでは、我々の位置を追跡しつつ、周辺環境の高密度な点群を作成しながら、環境内をスムーズに移動する性能を披露しました。



AUVSI Xponential 2022 で公開した ArtiSLAM のデモの一部

[SLAM の詳しい仕組みについては、'Visual SLAM: The Basics'や'3D Lidar SLAM: The Basics'のブログ記事をご確認ください \(英語のみ\)。](#)

Kudan 及び Artisense の SLAM 製品への関心も非常に高く、ブースにも多くの参加者に訪れていただきました。これは、市場のニーズとして、ロボティクスソリューションと自律型システムの両方において SLAM を採用するニーズが高まりつつあることを示しています。

今回のイベントでは、特に自律型走行ロボットやドローンの分野における参加者との会話を通じて、いくつかの具体的なプロジェクトリードを獲得することができました。これらの新たなプロジェクト機会をスケールさせるべく、次のステップへと発展させてまいります。

【K u d a n 株式会社について】

Kudan（東証上場コード: 4425）は機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（ディープテック）の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、機械の「脳」に相当する人工知能（AI）と対をなして相互補完する Deep Tech として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。

詳細な情報は、Kudan のウェブサイト (<https://www.kudan.io/?lang=ja>) をご参照ください。

■会社概要

会 社 名： K u d a n 株式会社
証券コード： 4425
代 表 者： 代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は [こちら](#)

